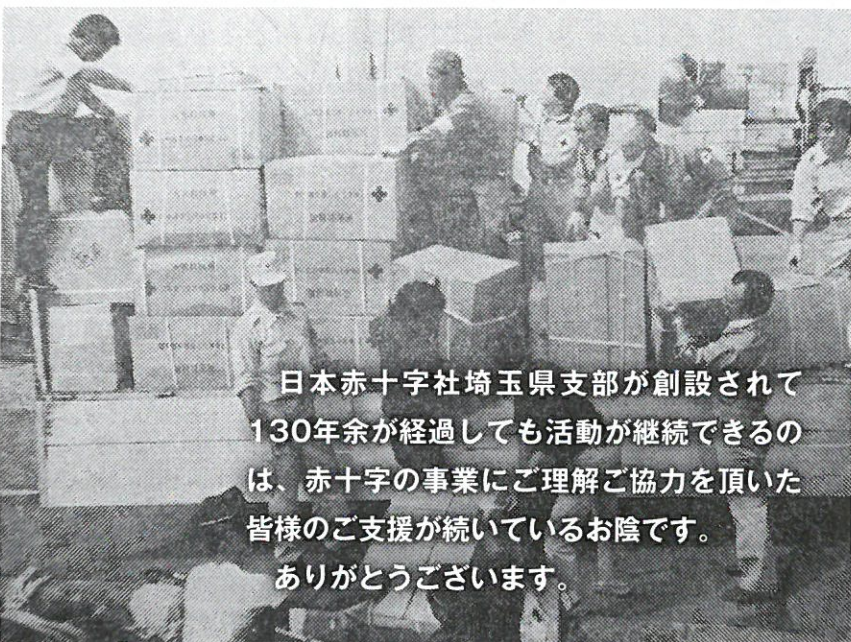
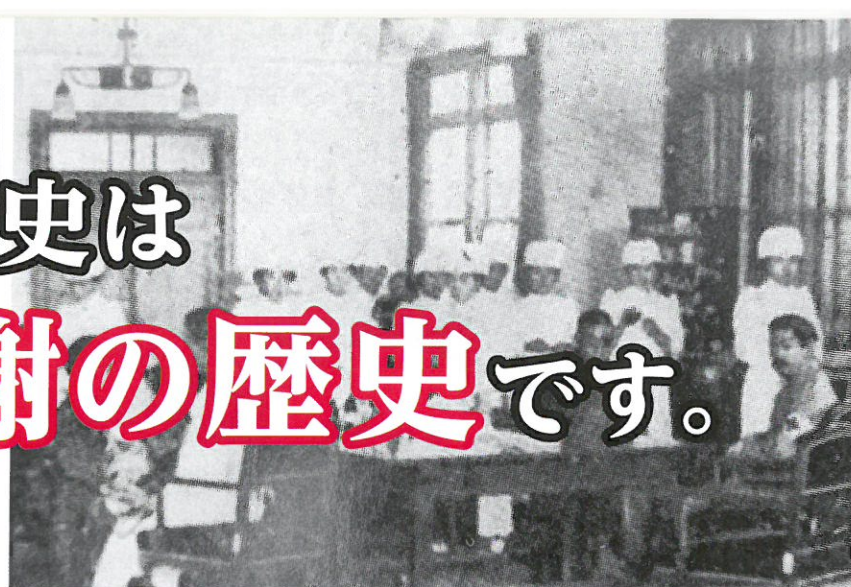


赤十字の歴史は 皆様への感謝の歴史です。



日本赤十字社埼玉県支部が創設されて
130年余が経過しても活動が継続できるの
は、赤十字の事業にご理解ご協力を頂いた
皆様のご支援が続いているお陰です。
ありがとうございます。

平成 29年 4月 から

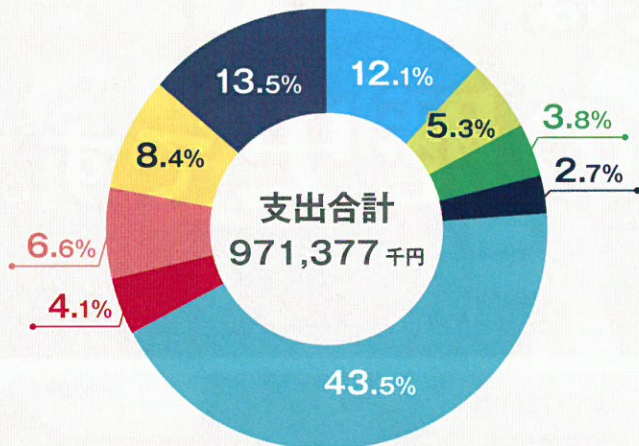
「社員」が「会員」になりました。

赤十字の支援者の方を「社員」とお呼びしておりましたが、平成 29年度から「会員」と改めました。
今後も、皆様にとってわかりやすい、参加しやすい赤十字を目指します。

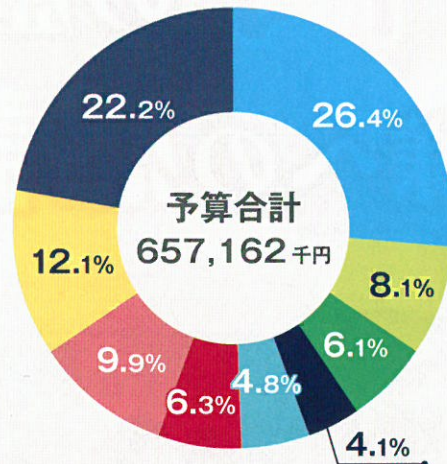


皆様からお寄せいただいた資金の使い道

平成 28 年度 決算報告



平成 30 年度 事業予算



| 項目名 | 平成 28 年度決算報告 | 平成 30 年度事業予算 |
|---------------------|-------------------|------------------------|
| 災害救護活動等のため | 118,128 千円 | 173,282 千円 |
| 救急法・幼児安全法等講習普及活動のため | 51,362 千円 | 53,065 千円 |
| 青少年赤十字活動のため | 37,174 千円 | 40,269 千円 |
| 赤十字ボランティア活動のため | 26,521 千円 | 26,816 千円 |
| 救急医療等にかかる整備のため | 422,422 千円 | 31,465 千円 |
| 献血思想の普及や地域社会福祉促進のため | 39,432 千円 | 41,213 千円 |
| 各市町村での赤十字活動のため | 63,801 千円 | 65,000 千円 |
| 赤十字会員の加入促進や広報活動のため | 81,224 千円 | 79,843 千円 |
| 業務運営管理等のため | 131,313 千円 | 146,209 千円 |
| 支出合計 | 971,377 千円 | 予算合計 657,162 千円 |

5月(5/1～31)に実施される赤十字会員増強運動について

日本赤十字社では赤十字の創始者アンリー・デュナンの誕生月にちなみ、5月を赤十字会員増強運動月間としております。赤十字の事業活動に対し、より多くの方々にご理解とご支援をお願いする為、運動期間中は赤十字協賛委員、赤十字奉仕団、町内会、自治会等の方々のご家庭を訪問させていただくことがありますので、会員への加入と活動資金納入にご理解とご協力をお願いいたします。



災害から“いのちを守る”活動を支えるサポーター(会員)になりませんか？

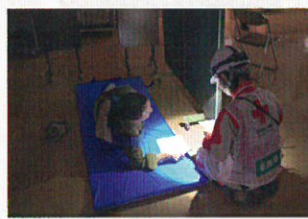


救援物資(1例)



講習普及用資機材

| | | | |
|---------------|--------|------------|----------|
| 救援物資 | | 訓練用人形(1体) | 151,000円 |
| 毛布(1枚) | 1,300円 | AED(訓練用1台) | 89,000円 |
| 安眠セット(1人分) | 2,000円 | | |
| 緊急セット(1世帯4人分) | 3,000円 | | |



停電を想定した訓練



避難所にいる被災者手当の訓練

いつ発生するかわからない大規模災害に備え、埼玉県支部では県内の3つの病院に医療救護班(医師1名、看護師3名、主事2名編成)を10班常備し、災害発生時には出動できる体制を整えております。

最近、大規模災害が多く発生しており、被災された方々に配布する救援物資(毛布・安眠セット・緊急セット等)の充実、また、災害発生時に迅速かつ適切な対応ができるように日頃から訓練を実施するなど、様々な“いのちを守る”活動に皆様からご協力いただいた活動資金を元に活用しています。

